

## 第2回審議会 グループディスカッション記録

### ●事例紹介と胎内市の機能検討図の説明を聞いてイメージできたか。感想は。

- ・事例紹介のあった施設は街に溶け込んでいるように感じた。
- ・胎内市のコンセプトは理解できた。
- ・機能検討図には、必要な機能がすべて盛り込まれていると思う。今後、絞られてくると思うが、逆に盛りだくさん過ぎなくらいの印象がある。
- ・全世代が集まるという施設に魅力を感じる。
- ・若い人が来ることは大変良いことである。
- ・コンセプトは素敵だと思う。特に、「つなぐ」は、いろんな意味合いのものが含まれているので、地域ならではの歴史や芸術も含まれると良い。
- ・叶えたいものや駐車場のことを考えると、掲げられている候補地の中には現実的には叶えられないところがある。
- ・コンセプトは非常にいいと思うし、今のトレンドだと思う。交流機能はにぎわいの視点が非常に大事で、胎内市にもそういう場所ができるといいと思う。
- ・身の丈に合ったものを作ろうというスタンスはちゃんと維持しつつも、時代のニーズ、にぎわいに結びつけていくための施設として、わかりやすくいい。
- ・胎内市に、不足していた交流施設機能がやはり一番大事だと思う。
- ・機能がたくさんあって、すごくいいなと思っています。いろいろやれることを叶えてくれるのはいいと思う。
- ・アクセスの問題は避けて通れないが、本当に使いたいなら車でも来ると思うし、手段の問題はどこにでもある。世代ごとの移動、交通問題も配慮しながら新しい取組（無人バス、ロケーションシステムなど）をしてチャレンジしてほしい。

### ●まだイメージできない、わからないところはないか

- ・多世代が集まるということは分かるが、交流のイメージがわからない。
  - 複合施設とすることで、これまでの公民館、図書館利用者それぞれと、子育て世代を中心とした多くの世代が集まる場、出会いの場の創出を想定している。
- ・胎内らしさがない、わからない。
  - 胎内市の豊かな自然や歴史、文化の発信のみならず、産直マルシェ（特産物直売所）、外国籍の方との交流を通じた多様性交流なども考えられる。
- ・施設で行われるソフトの内容が大事と思う。
- ・市外の人より、まずは市民向けの施設として考えていくべきか。

●候補地の選定について

- ・中央公民館付近は意外に広いと感じている。
  - 統合中学校の候補地になっており、予定地と決まった場合、その用地の大半は統合中学校やその駐車場などに利用されることが考えられるため、生涯学習施設を併設するスペースの確保は難しい。
- ・統合中学校は市内すべての中学生が通うため、生涯学習施設がその場所だと利用しやすく望ましいと思う。
  - 中学生の利便性のみならず、他の世代の利用しやすさを含め、構想する施設は全世代利用を想定している。
- ・嘉平山反対の声はどのようなものがあるか。また、そのように考える理由は何か。
  - パブコメ等の反対理由をまとめて示す。

参考資料 嘉平山を候補地とすることに対する否定的な意見のまとめ

- ・アクセスが容易、ゆったりとしたスペース、活用に柔軟性がある場所が望ましい。
- ・車の入りやすさ、道路幅、歩行者の安全が確保できる場所
- ・乙、築地、黒川地区から来やすい場所
- ・車のない人への配慮が必要
- ・ノイズの問題を考えると、民家の近くではなく少し離れたところに限られてくる。
- ・車のない人のバスの利用等を考えた場合には、「ふれすぼ」の近くや旧柴橋小学校も行きやすい。
- ・「ふれすぼ」周辺に体育館やプールなどの施設やほっと HQT・中条にある子ども家庭センターを複合化して一極集中させることで、分散化によるデメリットを解消でき、母親同士、子ども同士の繋がりを始め、多世代が出会う場となる。
- ・一箇所への集約型ではなく、分散型も良い。
- ・叶えたいものや駐車場のことを考えると、掲げられている候補地の中には現実的には叶えられないところがあり、現実的にふれすぼ、嘉平山、旧柴橋小学校に絞られてくるのではないかと。
- ・どこの候補地も自分の家からは遠く感じる。
- ・コンセプトを実現できる十分なスペースを確保できない3（中条駅周辺）、また、インフラ整備や害獣のことを考えると4（関沢地内（嘉平山））以外が望ましい。
- ・駐車場については、広くないと、「車を止められないから（行くのを）やめよう」ということにもなるため、配慮が必要
- ・中学校の近くに建てる案については、胎内市における中学校統合の候補地となる可能性が高く、生涯学習施設を建設することは難しい。
- ・嘉平山については「駅から遠い」という意見もあるが、近隣で言えば、新発田市駅前を利用する学生はイクネスが混雑している際には新発田市役所を利用することが多く歩いて移動している。駅からの距離で考えると、新発田市役所へ行くのと同程度で

- あり、その程度であれば学生の利用も十分可能ではないかと考えている。
- ・嘉平山について、歩いて行ける距離だとは思いますが、子どもたちの安全を確保するため、「街灯の設置」などの安全面という点も考慮すべき。施設を作るのであれば、周辺環境の安全性も含めて検討していく必要がある。
  - ・旧柴橋小学校について、周辺は住宅が密集しており、道路も狭い。道路を拡幅するには土地の買収なども含めて膨大な年月がかかるし、騒音の問題もある。実際、中条駅から歩くと1km以上あり、これからの胎内市を担う子育て世代や若い人たちがどう使っていくべきかを念頭に置けば、やはり現在の旧柴橋小学校は適切ではない。
  - ・中央公民館の現在の場所については、市全体の視点で考えると、黒川地区や乙地区の方々にとっては、やはり心理的・物理的に入りにくい。中学校の統合に関連して、施設が手狭であるという問題もある。地元の方には良い場所であっても、他の地区から来る方にとっては、車の運転のしやすさなどを含め、少し行きにくい場所になっているのではないかと感じる。
  - ・市外の人にとってもわかりやすい場所であった方がいいと思う。
  - ・新施設ができた結果として、中心部の人の流れや人口が減ってしまうことは避けるべき。
  - ・嘉平山は中心市街地から外れた場所に位置している。利便性だけでなく、中心部の衰退を招かないかという視点も非常に重要
  - ・市有地があるというのはメリット